

DVD±R/RW/RAM セットアップガイド

DVR-UN18GLV

この度は、「DVR-UN18GLV」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に【本書】をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

B-MANU200755-01

I-O DATA

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用する事を前提としております。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

動作環境の確認

対応機種	USB 2.0*(USB 1.1*)ポートを搭載したDOS/Vパソコン(弊社USBインターフェイスを搭載したパソコンを含む)
対応OS	Windows Vista™5/Windows XP Service Pack 2/Windows 2000 Professional/Service Pack 4以降
搭載CPU	●データ保存時: Pentium III 450MHz以上 ●ビデオ編集: DVD鑑賞時: Pentium 4 1.6GHz以上
メモリ	512Mバイト以上
ハードディスク	空き容量 10Gバイト以上 (20Gバイト以上推奨)
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア	●DVD: DVD+R*8、DVD+RW、DVD-R*9、*10、DVD-RW、DVD-RAM*11、DVD-ROM ●C: CD-R、CD-RW、CD-ROM

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速 (最大18倍速書き込み*15)	太陽誘電
	8倍速	日立マクセル、三菱化学
	4倍速	ソニー、日立マクセル
2層DVD+R	16倍速	三菱化学
	8倍速	日立マクセル、三菱化学
	4倍速	日立マクセル、リコー
DVD-RW	16倍速 (最大18倍速書き込み*15)	太陽誘電、三菱化学
	8倍速	富士フイルム、弊社製 DVD-R4 7LF
	4倍速	日立マクセル
1層DVD-R	16倍速	日立マクセル
	8倍速 (最大16倍速書き込み*15)	日立マクセル
	4倍速	ソニー、太陽誘電、三菱化学
2層DVD-R	16倍速	三菱化学
	8倍速	三菱化学
	4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
DVD-RW	16倍速	三菱化学
	8倍速	三菱化学
	4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
DVD-RAM	12倍速	日立マクセル
	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル
CD-R	三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

●DVD+R/RW、R/RWメディアで作成したDVD-ROM、DVDビデオは、従来のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生できますが、一部再生できない場合があります。
●上記の条件を満たした場合でも、単体メディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

製品仕様

ドライブ名	AD-7173A(OEM供給元: ソニーNECオプティカル株式会社)							適合フォーマット	●DVD: DVD-ROM, DVD-Video		
インターフェイス仕様	USB 2.0 (USB 1.1)								●C D: CD-ROM Mode1, CD-ROM Mode2 (form 1, form2), CD-DA, CD-Extra, CD-I, Video CD, CD-TEXT, PhotoCD		
設置条件	設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)										
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング										
データバッファサイズ	2Mバイト										
書き込みエラー回避機能	搭載										
最大書き込み/読み込み速度	DVD	1層 +R	2層 +R	+RW	1層 -R	2層 -RW	RAM	ROM	書き込み方法	●DVD+R/+RW : Disc at Once, Random Write, Sequential write	
	書き込み時	×18	×8	×8	×18	×8	×6	×12		-	●DVD-R/-RW : Disc at Once, Incremental, Multi-Border, Restricted Overwrite
	読み込み時	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12		×16	●DVD-RAM : Random Write, Sequential Write
											●CD-R/RW : Disc at Once, Session at Once, Track at Once, Packet Writing
	C D	-R	-RW	ROM							※DVD-RWのみ
	書き込み時	×48	×32	-							
	読み込み時	×48	×40	×48							
Labelflash™のレーベル面描画速度	描画時間				回転数			解像度	動作温度	電源仕様	
	約6分				7,875rpm			182dpi	5V: 1.5A, 12V: 1.0A	AC 100V±10%、50/60Hz	
	約11分				4,500rpm			303dpi	動作速度		
	約21分				2,250rpm			605dpi	外形寸法		
									質量		

※書き込み時間は1枚あたりの目安です。デフォルト設定によって描画時間は変動します。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ(1台)

□ ACアダプター(1個)

□ 縦置きスタンド(1個)

☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド(本書/1枚)

□ Labelflash™簡単ガイド(1枚)

□ DVD Proツールズコレクション(CD-ROM/1枚)

□ UleadソフトウェアCD(CD-ROM/1枚)

□ Ulead DVD MovieWriter CPM対応

キーダウンロードのご案内(1枚)

□ ゴム足(8個) [縦置用: 4個/横置用: 4個]

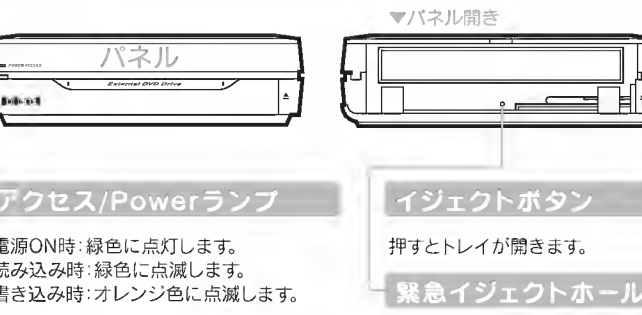
□ ハードウェア保証書(1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面



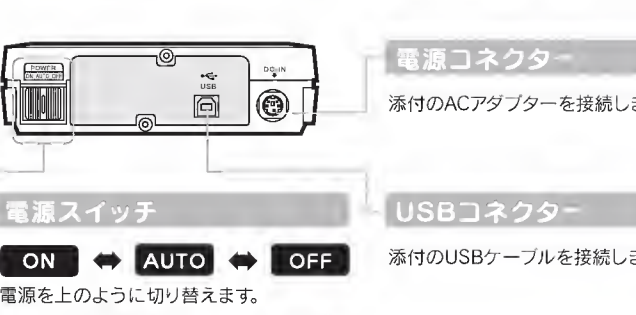
アクセス/Powerランプ

電源ON時: 緑色に点灯します。
読み込み時: 緑色に点滅します。
書き込み時: オレンジ色に点滅します。

イジェクトボタン

押しとトレイが開きます。
緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

ドライブ背面



電源スイッチ

電源を上に切り替えます。
※[AUTO] (電源連動機能) については右記「電源連動機能とは?」をご覧ください。

USBコネクタ

添付のUSBケーブルを接続します。

●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う際には、Windowsを管理者権限でログインしてください。

手順.1

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.2

添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

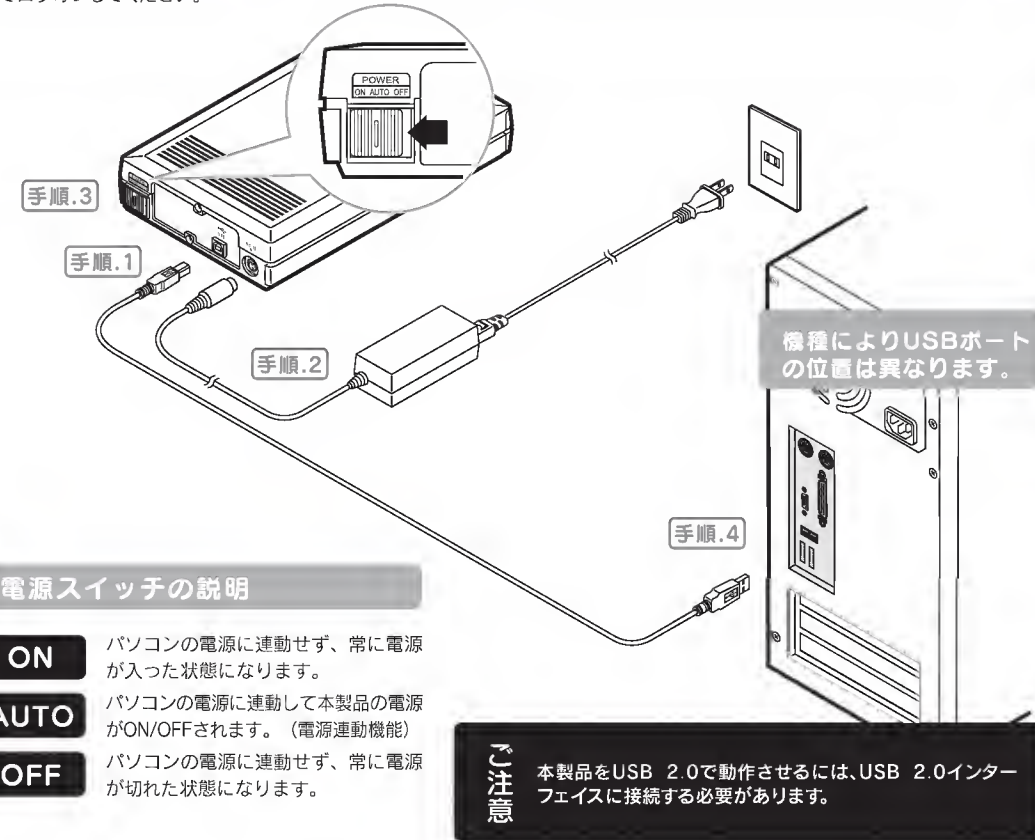
手順.3

電源を入れます。

手順.4

パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



電源連動機能とは?

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れたと同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

起動時

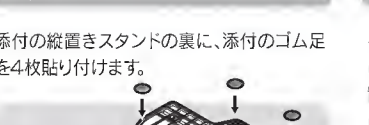


終了時

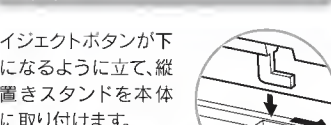


縦置きにする場合

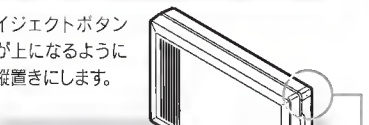
手順.1



手順.2

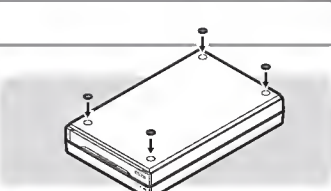


手順.3



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

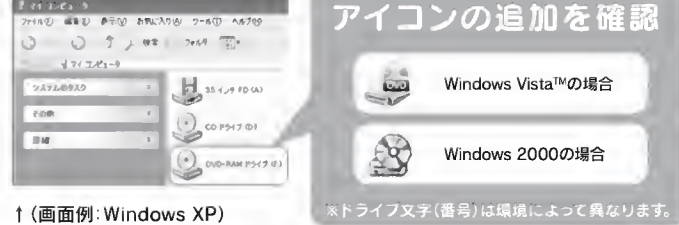


●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して「マイコンピュータ」(または「コンピュータ」)を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



こんなときには?

アイコンが追加されていない場合

- 「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに押し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータ(またはコンピュータ)に表示されない)」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたま消えない場合

「キャンセル」ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.その他

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例: Windows XP)

手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。

手順.2

本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。(画面例: Eドライブの場合)
USB 大容量記憶装置ドライバ(E:)を安全に取り外します

手順.3

メッセージを確認します。
(Windows XP以外の場合は「OK」をクリックします。)

手順.4

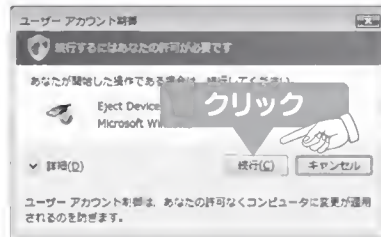
パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

AUTOの場合、自動的に電源が切れます。(ただし、Windows Vista™ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)

こんなときには?

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

「続行」ボタンをクリックしてください。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

裏面へお進みください。➡

